

# 「臨床宗教師」宗教、宗派超え育成へ

## 龍谷大学大学院実践真宗学研究科 今年度は10人認定

宗門校の龍谷大学は、臨床宗教師は、信徒の。

1月29日、新春シンポジウム「臨床宗教師研 ず、病院や被災地など 修の新たな展開」を京 都市下京区の大宮学舎 で開き、大学院実践真 宗学研究科の講座「臨 床宗教師研修」を宗教 にも門戸を広げるなど 新応募要項を発表し 間て実践可能な宗教的 ケアを学んでいくも



もんぼう講演会

シンポジウムでは、どの研修概要を説明。

この取り組みに共鳴 研修主任の嶋島直樹教 授が初年度の成果や反 省点を踏まえながら、 15年度の募集要項を説 明。東日本大震災の被 災地やあそかビハラ 組んでいくのが本来の 目的」と、信侶や坊主、 神父、牧師など学外か らの応募も受け入れて いくことなどを述べた

### 「最後は信仰が支えてくれる」

#### 内藤いづみさんが緩和ケア語る

社会で注目される課 題や問題などについて

「家に帰りたい」と いう23歳女性患者との 出会いから在宅ホスピ タルを始めた内藤さん 多くの患者を看取り ってきた30年を振り返

「寄り添う力、旅 立つ力」在宅ホスピス 医が学んだこと」と題

続いて、あそかビハ ー病院ビハラ室長 の花岡尚樹さんが「緩 和ケアにおけるビハ ー僧の役割」と題して

「目の前で涙し、苦 悩の相手は何を求めて されるのに何もで ない無力と自分から動 いていくことを教わっ た。4月から働く福祉 職でこの経験を生かし

時に自分を支えるもの 直していただきたい。 私には宗教家ではない が、最後はそれぞれの 信仰が支えてくれると

この後、昭和大学医 学部医学教育推進室の 高宮有介医師（あそか

渡すのが身内ではない ということも、今からい



「いのちのバトン」を